

ELIXIR MOBILE PRODUCTS

**ELIXIR**  
MOBILE GATEWAY  
EXTREME

ユーザーズ・マニュアル  
バーチャルアプライアンス版

＜設定&運用編＞

Ver. 1.04

ノイアンドコンピューティング株式会社

## 変更履歴

2012-02-07	バージョン 1.04	4-3. ダウングレード を追加
2011-09-15	バージョン 1.03	3-1. 変換対象サイトの設定に設定項目 「POST データの文字コード変換」を追加 5-2. 時刻設定 に注意事項を追記
2011-07-14	バージョン 1.02	3-2. 変換対象サイトの管理 (2) アクセスログ、エラーログの取得、削除 にエラーログに関する記述を追記
2011-03-24	バージョン 1.01	3-3. SSL 関連の設定 に4階層の証明書 に関する注意事項を追記

# 目 次

---

<b>1. システム導入・起動</b> .....	<b>3</b>
1-1. システム構成の基本.....	3
1-2. 本体の設置とシステムへの接続.....	3
1-3. システムの起動／停止.....	3
1-4. 管理画面への接続.....	4
<b>2. ネットワークの設定</b> .....	<b>6</b>
2-1. 管理画面による設定.....	6
2-2. 疎通確認.....	7
<b>3. サイトの設定／管理</b> .....	<b>8</b>
3-1. 変換対象サイトの設定.....	8
3-2. 変換対象サイトの管理.....	9
3-3. SSL 関連の設定.....	10
3-4. 変換対象サイトの削除.....	11
3-5. キャッシュのクリア.....	12
<b>4. アップデートおよび設定</b> .....	<b>13</b>
4-1. 自動アップデート設定.....	13
4-2. 手動アップデート.....	14
4-3. ダウングレード.....	14
<b>5. システム管理</b> .....	<b>15</b>
5-1. 管理者設定.....	15
5-2. 時刻設定.....	15
5-3. SNMP 設定.....	15
5-4. ログ.....	16
5-5. 再起動・停止.....	19
<b>6. 設定情報のバックアップ／リストア</b> .....	<b>20</b>
6-1. 設定バックアップ.....	20
6-2. 設定リストア.....	20
<b>7. コンソールメニュー</b> .....	<b>21</b>
7-1. 起動・メニュー.....	21
7-2. LAN2 設定.....	22
7-3. 初期化.....	22

# 1. システム導入・起動

## 1-1. システム構成の基本

エリクサーは、リバース・プロキシ型のシステム構成をとります。

エリクサーは、インターネットに接続され、外部からアクセスが可能とならなければなりません。また、変換元のコンテンツを格納した Web サーバと通信ができる環境でなければなりません。

本システムはバーチャルアプライアンスの形態になっています。バーチャルアプライアンスをデプロイした環境で、各通信が可能となるようにネットワーク設定を行ってください。

下記図は物理的アプライアンスの場合のシステム構成イメージになります



図 1.1 システム構成の基本

## 1-2. 本体の設置とシステムへの接続

バーチャルアプライアンス(.ova ファイル)を VMware 環境にデプロイします。

例えば、vSphere Client の場合、[ファイル]-[OVF テンプレートのデプロイ]からデプロイします。

ディスクのフォーマットは、[シンプロビジョニングフォーマット]を選択してください。

## 1-3. システムの起動／停止

### (1) システムの起動

vSphere Client 等の仮想マシン管理ツールからバーチャルアプライアンスを起動してください。

### (2) システムの停止

システムの停止、再起動は、管理画面から行ってください。

コンソールから shutdown, reboot 等の OS コマンドでも停止、再起動が可能です。

## 1-4. 管理画面への接続

アプライアンス版は、システムの設定・管理を主に、Web ブラウザで行うことができます。

### (1) 管理画面への接続

バーチャルアプライアンスのネットワークアダプタ2(LAN2,eth1)と、通信可能な PC から、ブラウザにてアクセスします。

ネットワークの環境上ネットワークアダプタ2(LAN2,eth1)の IP アドレスを変更したい場合は、コンソールメニュー(7.コンソールメニュー参照)から変更してください。

<対応ブラウザ>

Microsoft Internet Explorer 6 以上

Firefox 2 以上

初期状態では、ブラウザにて以下の URL にアクセスします。

`http://192.168.1.253:54321/`

初期状態では”192.168.1.253”になっていますが、ネットワークアダプタ2(LAN2, eth1)の IP アドレスを変更された場合は、変更したアドレスへアクセスしてください。

以下のような画面が表示されれば、接続は成功しています。

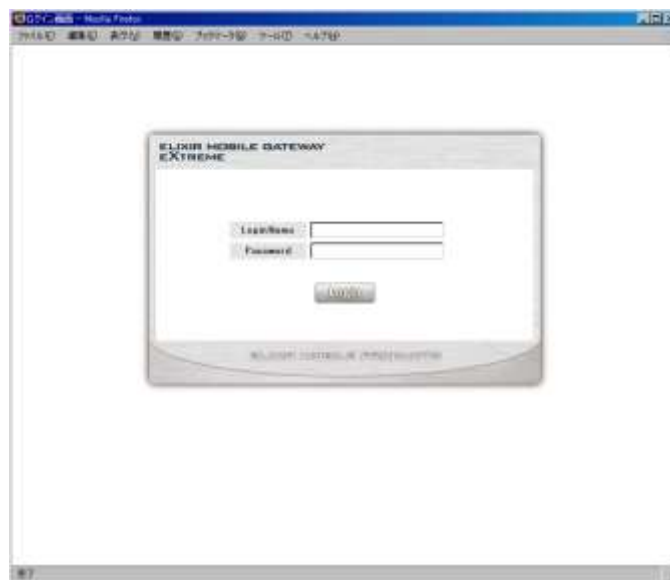


図 1.2 管理画面

### (2) 管理画面への接続ログイン

管理者アカウント(LoginName)は、「admin」となります。

初期状態では、管理者パスワード>Password)は「admin」です。管理画面のログインページよ



## 2. ネットワークの設定

### 2-1. 管理画面による設定

#### (1) LAN1 設定

LAN1側の IP アドレスの設定を行います。

「LAN1 側から設定画面アクセス」の「可能」にチェックすると、LAN1 側ネットワークインターフェイス(ネットワークアダプタ 1)から設定画面へのアクセスが可能となります。

LAN1 設定		
IPアドレス	<input type="text" value="61.194.28.53"/>	現在値:61.194.28.53
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.248"/>	現在値:255.255.255.248
MACアドレス	<input type="text" value="00:18:8B:87:01:C6"/>	
LAN1 側から設定画面アクセス	<input checked="" type="checkbox"/> 可能	

図 2.2 LAN1 の設定

#### (2) LAN2 設定

LAN1設定と同様に、LAN2 の IP アドレスを設定します。

#### (3) ゲートウェイ・DNS 設定

デフォルトゲートウェイの設定および、参照する DNS サーバの設定を行います。

ゲートウェイ・DNS設定		
デフォルトゲートウェイ	<input type="text" value="61.194.28.49"/>	現在値:61.194.28.49
DNSサーバ1	<input type="text" value="192.168.14.17"/>	
DNSサーバ2	<input type="text"/>	

図 2.3 ゲートウェイ・DNS の設定

#### (4) IP エリアス設定

IP エリアスを設定する場合は、ネットワークインターフェイスを選んだ上で、IP アドレスとネットマスクを指定します。設定結果は、設定 IP エリアス一覧に表示されます。

IP エリアスは、それぞれにネットワークインターフェイスと同一ネットワークの IP アドレスでなければなりません。

IPエイリアスインターフェイスを追加しました。  
IPエイリアス設定

ネットワークインターフェイス	LAN1 (eth0:61.194.28.53)
IPアドレス	<input type="text"/>
サブネットマスク	<input type="text"/>
<input type="button" value="保存"/>	

設定IPエイリアス一覧

ネットワークインターフェイス	IPアドレス	サブネットマスク	操作
eth0:0	61.194.28.54	255.255.255.248	

図 2.4 IP エリアスの追加

#### (5) スタティックルーティング

スタティックルーティングを設定する場合は、ネットワークインターフェイスを選んだ上で、宛先 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。登録されたスタティックルーティングの設定は、設定ルーティング一覧に表示されます。また、システム内容ルーティング情報が表示されます。

スタティックルーティングを設定しました。

スタティックルーティング

※ルーティングテーブルは最大10個まで設定可能です。

ネットワークインターフェイス	LAN1 (eth0:61.194.28.53)
宛先IPアドレス	<input type="text"/>
サブネットマスク	<input type="text"/>
ゲートウェイ	<input type="text"/>
<input type="button" value="保存"/>	

設定ルーティング一覧

宛先IPアドレス	ゲートウェイ	サブネットマスク	インターフェイス	操作
192.168.1.122	61.194.28.53	255.255.255.0	eth0	

図 2.5 スタティックルーティングの設定

## 2-2. 疎通確認

ネットワークに接続されているか確認する手段として、本体より PING の送信を行うことができます。送信先 IP アドレスを指定して、実行を押すと、結果の欄に反応が表示されます。

## 3. サイトの設定／管理

### 3-1. 変換対象サイトの設定

変換対象となるサイトを設定します。各サイトはフロントホスト名で識別します。

#### (1) 変換対象サイトリスト

**サイト管理**メニューを選択すると、図 3.1 のような変換対象サイトの一覧が表示されます。

サイトの設定や管理は、**フロントホスト名**をクリックします。サイト設定を削除する場合、サイトのキャッシュをクリアする場合も、この画面から操作します。

#### 変換対象サイトリスト

全 3 件

フロントホスト名	コンテンツサーバホスト名	コンテンツサーバIPアドレス	転送防止パス	キャッシュ時間(秒)	SSL	操作
<a href="#">test1.neu.jp</a>	test-contents.neu.jp		/^test/verification/emx/test_contents/	30		 
<a href="#">test2.neu.jp</a>	test-contents.neu.jp			3600		 
<a href="#">test3.neu.jp</a>	test-contents.neu.jp			30		 


 新規追加

図 3.1 変換対象サイト一覧

#### (2) サイト新規追加

変換対象サイトを追加する場合、**変換対象サイト一覧**の下にある**新規追加**ボタンをクリックします。1つの設定について、通信プロトコルを HTTP か、SSL かを選択する必要があります。同じホストに対して、HTTP と SSL の両方で通信できるようにするためには、それぞれのプロトコルで設定する必要があります。設定項目に入力後**保存**ボタンをクリックします。

サイト新規追加

フロントホスト名 (必須)	<input type="text"/>
コンテンツサーバ (必須)	ホスト名 <input type="text"/> <small>ホスト名のみを入力する場合は、DNSサーバにより名前解決が可能となるようにしてください。 それが不可能な場合はIPアドレスも入力してください。</small> IPアドレス <input type="text"/>
転送防止パス	<input type="text"/>
キャッシュ時間(秒) (必須)	3600
サイト種類 (必須)	<input checked="" type="radio"/> HTTPサイトとして設定する <input type="radio"/> SSL使用サイトとして設定する
画像変換パラメータ名	画像サイズ(横)指定名 <input type="text"/>
	画像サイズ(縦)指定名 <input type="text"/>
	待ち受け画像サイズ指定名 <input type="text"/>
	待ち受け画像容量色指定名 <input type="text"/>
	画像変換指定名 <input type="text"/>
POSTデータの文字コード変換	<input checked="" type="radio"/> 変換しない <input type="radio"/> UTF-8 <input type="radio"/> EUC-JP <input type="radio"/> Shift_JIS

 保存

図 3.2 サイト新規追加

表 3.1 サイト設定の項目

項 目	必須	説 明
フロントホスト名	●	外部からアクセスする際のホスト名を入力します。 これとサイト種別で、設定済みのサイトを識別します。
コンテンツサーバ	●	バックエンドの変換元コンテンツを格納した Web サーバを設定します。ホスト名のみを設定する場合、必ずエリクサーから名前解決ができなければなりません。
転送防止パス		転送を禁止したい画像コンテンツを格納するパスを設定します。複数設定する場合、改行で区切ります。
キャッシュ時間(秒)	●	バックエンドの Web サーバへのアクセス間隔を秒単位で指定します。 「0」で指定すると、毎回バックエンドの Web サーバにアクセスします。
サイト種別	●	サイトにアクセスするプロトコルが HTTP(デフォルト)か SSL か、どちらかを設定します。
POST データの文字コード変換	●	POST データの文字コードを指定します。Web サーバで使用している文字コードを設定してください。 初期設定は「変換しない」で、エリクサーは POST データを透過します。文字コードを指定した場合、エリクサーは POST データを指定した文字コードに変換します。

### 3-2. 変換対象サイトの管理

設定した変換対象サイトの管理や、設定の変更を行う場合は、変換対象サイト一覧から変更したいフロントホスト名をクリックします。

#### (1) HTTP ヘッダ編集

HTTP ヘッダ編集メニューを選択し、HTTP リクエストヘッダに付加する端末仕様に関するデータ項目を設定できます。



図 3.3 HTTP ヘッダの編集

(2) アクセスログ、エラーログの取得、削除

エリクサー本体にアクセスログを蓄積したアクセスログとエラーログを取得または削除できます。



図 3.4 アクセスログ/エラーログ

### 3-3. SSL 関連の設定

通信プロトコルとして SSL を設定したサイトは、SSL 関連のメニューが表示されます。

(1) SSL の設定

使用するインターフェイスを選択し、サーバー秘密鍵とサーバー証明書をコピー & ペーストで貼り付けた後、**インポート**ボタンをクリックします。

**SSL 設定**

ご注意:  
 ・インポートされているサーバー秘密鍵、サーバー証明書は上書きされます。  
 ・現在インポートされている鍵、証明書が必要な場合は別途保存されるようお願いいたします。  
 ・サーバー秘密鍵、サーバー証明書は対応するものをペアでインポートしてください。

フロントホスト名	test3.neu.jp
使用インターフェイス	eth0 61.194.28.53

**サーバー秘密鍵**  
ご注意:  
 ・サーバー秘密鍵は、パスフレーズを解除したのものとご使用ください。

**サーバー証明書(サーバーID)**  
ご注意:  
 ・サーバー証明書が中間 CA 証明書を必要とする場合は一纏めにインポートしてください。

図 3.5 SSL の設定

<注意事項>


- ・ サーバー秘密鍵は、パスフレーズを解除したのものをご使用ください。
- ・ サーバー証明書が中間 CA 証明書を必要とする場合は
  1. サーバー証明書
  2. 中間 CA 証明書
 の順番で入力してください。
- ・ ベリサインのサーバ証明書等、4 階層の証明書をインストールする場合
  1. サーバー証明書
  2. 3 階層目中間 CA 局証明書(ベリサインでは中間 CA 証明書)
  3. 2 階層目中間 CA 局証明書(ベリサインではクロスルート設定用証明書)
 の順番で入力してください。

インポートする鍵、証明書は必ず別の媒体への保存をお願いします。

(2) 鍵・証明書の確認

鍵・証明書メニューを選択すると、インポートしたディスタイングイッシュネーム、サーバー秘密鍵、証明書の内容を確認することができます。

### 3-4. 変換対象サイトの削除

設定した変換対象サイトを削除するには、変換対象サイト一覧から該当するサイトの  ボタン

をクリックします。









転送防止パス	キャッシュ 時間(秒)	SSL	操作
aka/verification/evz/test_page/img_no_copy/	30		 
	3600		 
	30		 

図 3.6 変換対象サイトの操作

### 3-5. キャッシュのクリア

キャッシュをクリアする場合、変換対象サイト一覧から該当するサイトの  ボタンをクリックします。

## 4. アップデートおよび設定

### 4-1. 自動アップデート設定

#### (1) 自動アップデートの概要

自動アップデートは、エリクサー本体が 1 日 (24 時間) に 1 回、アップデートサーバにアクセスして更新情報の有無を確認し、システムが更新されている場合は、自動でダウンロードし、システムを最新の状態にする機能です。

更新内容としては、以下の項目があります。

- ・ 端末プロファイル
- ・ 変換ルール
- ・ 変換、配信エンジン、その他ソフトウェア

自動アップデートによって、システムを最新の状態にする際、変換エンジン (配信エンジン) が瞬間的に再起動されます。これにより 1 秒程度アクセスができなくなることがあります。

#### (2) 自動アップデート設定

**自動アップデート設定**メニューより設定を行います。

**自動アップデート設定**

自動アップデート機能使用	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
アップデート時刻	毎日 <input type="text" value="04"/> 時 <input type="text" value="17"/> 分
自動アップデート接続先URI	<a href="https://update.neu.co.jp/">https://update.neu.co.jp/</a>

自動アップデート即時実行	<input type="button" value="実行"/>
--------------	-----------------------------------

図 4.1 自動アップデートの設定

表 4.1 サイト設定の項目

項目	説明
自動アップデート機能使用	自動アップデート機能を使用する場合は ON を選択します。
アップデート時刻	毎日のアップデートサーバへの確認時刻を設定します。更新の場合システムが瞬断するため、アクセスが集中しない時間帯を設定してください。

#### (3) 自動アップデート即時実行

図 4.1 で**自動アップデート即時実行**の**実行**ボタンをクリックすると、自動アップデートサーバに更新情報があるか確認をするためにアクセスします。更新情報がある場合は、そのままシステムがアップデートされます。

## 4-2. 手動アップデート

### (1) 手動アップデート

手動アップデートメニューで、参照ボタンを押してローカルに保存されたアップデートファイルを選択し、実行ボタンを押すと手動アップデートが実行されます。

手動アップデート	
アップデートファイル	<input type="text"/> 参照...
アップデート開始	実行

図 4.2 手動アップデート

## 4-3. ダウングレード

アップデートメニューのダウングレード画面より、緊急時に実行ボタンを押してソフトウェアを一つ前のバージョンに戻すことができます。なお、最新バージョンのソフトウェアのみサポート対象とさせていただきます。緊急時のみご利用ください。

ダウングレード	
現在のシステムVer	1.135
ダウングレードシステムVer	1.134
ダウングレード開始	実行

図 4.3 ダウングレード

## 5. システム管理

### 5-1. 管理者設定

設定画面にログインするためのパスワードを設定することができます。**管理者パスワード**を2回入力し、**保存**ボタンを押すと新しいパスワードが保存されます。

管理者設定

管理者ID	admin (固定)
管理者パスワード	<input type="password"/>
管理者パスワード(確認)	<input type="password"/>




図 5.1 管理者設定

### 5-2. 時刻設定

現在の時刻および参照する NTP サーバを設定します。**日付**、**時刻**、**NTP サーバ**をそれぞれ入力して、**保存**ボタンを押すと設定が保存されます。**※NTP サーバは1つのみ設定可能です。**

時刻設定

日付	2009 年 09 月 12 日
時刻	13 時 01 分 46 秒
NTPサーバ	<input type="text"/>




図 5.2 時刻設定

### 5-3. SNMP 設定

SNMP の設定ができます。**コミュニティネーム(リードオンリー)**および**アクセス元ネットワーク (IP/MASK)**を指定し、**保存**ボタンをクリックします。

SNMP設定

コミュニティネーム (リードオンリー)	private
アクセス元ネットワーク (IP/MASK)	192.168.1.0/24




図 5.3 SNMP 設定

取得可能な項目は下記表 5.4 をご参照ください。

表 5.4 OID 一覧

OID	説明
.1.3.6.1.2.1	ネットワーク関連
.1.3.6.1.4.1.2021.4	メモリ関連
.1.3.6.1.4.1.2021.10.1.3	CPU 負荷状況(ロードアベレージ)
.1.3.6.1.4.1.2021.8.1.101.1	active connections コンテンツサーバへの接続も含む全ての接続数
.1.3.6.1.4.1.2021.8.1.101.2	reading リクエストヘッダを読み込み中の接続数
.1.3.6.1.4.1.2021.8.1.101.3	writing クライアントレスポンス書き込み中の接続数
.1.3.6.1.4.1.2021.8.1.101.4	waiting keep-alive 接続数、実際にアクティブな接続数(読み込み中+書き込み中)

取得方法例) snmpwalk コマンドを利用してメモリ関連の情報を取得する場合

**snmpwalk -c [コミュニティネーム] -v 1 [エリクサーの IP アドレス] .1.3.6.1.4.1.2021.4**

## 5-4. ログ

### (1) システムログ

システムログは、システムの起動、停止など、システムの動作に関するログです。リンクをクリックするとダウンロードが可能です。

ログ

---

システムログ

システムログ(20件)

---

システムログ

ダウンロード	サイズ
<a href="#">system.log</a>	0KB

システム状態ログ

ダウンロード	サイズ
<a href="#">system.state.log</a>	75KB
<a href="#">system.state.log-20090312</a>	202KB
<a href="#">system.state.log-20090311</a>	204KB
<a href="#">system.state.log-20090310</a>	203KB
<a href="#">system.state.log-20090309</a>	202KB
<a href="#">system.state.log-20090308</a>	204KB
<a href="#">system.state.log-20090307</a>	205KB
<a href="#">system.state.log-20090306</a>	204KB
<a href="#">system.state.log-20090305</a>	204KB
<a href="#">system.state.log-20090304</a>	202KB
<a href="#">system.state.log-20090303</a>	205KB
<a href="#">system.state.log-20090302</a>	206KB
<a href="#">system.state.log-20090301</a>	207KB
<a href="#">system.state.log-20090231</a>	205KB
<a href="#">system.state.log-20090230</a>	205KB
<a href="#">system.state.log-20090229</a>	205KB
<a href="#">system.state.log-20090228</a>	205KB
<a href="#">system.state.log-20090227</a>	205KB
<a href="#">system.state.log-20090226</a>	200KB
<a href="#">system.state.log-20090225</a>	205KB
<a href="#">system.state.log-20090224</a>	205KB
<a href="#">system.state.log-20090223</a>	203KB
<a href="#">system.state.log-20090222</a>	53KB

図 5.4 システムログ

(2) システム状態ログ

システム状態ログは、以下の項目を定期的(1分毎)に取得しています。  
 システムに対する負荷の計測などに利用できます。システム状態ログは、1日1ファイルとし、30日間保存します。30日を過ぎると削除されます。ファイル名に日付が含まれていますので、システム状態を確認したい日付のファイル名をクリックするとダウンロードすることができます。

ログの出力例)

```
Feb 25 04:30:01 localhost EMX: 0.11 0.03 0.01 Active connections: 1
server accepts handled requests 16630948 16630948 31070465 Reading: 0
Writing: 1 Waiting: 0
```

各パートの説明)

[Feb 25 04:30:01]

日時

[localhost EMX: 0.11 0.03 0.01]

CPU 使用率(過去1分間平均、過去5分間平均、過去15分間平均)

[Active connections: 1]

コンテンツサーバへの接続も含む全ての接続数

[server accepts handled requests 16630948 16630948 31070465]

16630948 コネクションを受け付け、

16630948 コネクションを処理し(未処理のまま閉じられたコネクションはない)、

31070465 リクエストを処理した(1 コネクションあたり 1.8 リクエスト)

[Reading: 0]

リクエストヘッダを読み込み中のコネクション数

[Writing: 1]

クライアントへレスポンス書き込み中のコネクション数

[Waiting: 0]

keep-alive コネクション数、実際にアクティブなコネクション数

(読み込み中+書き込み中)

## 5-5. 再起動・停止

再起動・停止メニューを選択すると、システムを再起動または停止できます。  
また、現在の CPU 負荷状況、メモリ使用状況を表示します。

**再起動・停止**

---

操作	再起動
----	-----

操作	停止
----	----

**CPU負荷状況**

CPUロードアベレージ (過去1分間平均)	0.00
CPUロードアベレージ (過去5分間平均)	0.00
CPUロードアベレージ (過去15分間平均)	0.00

**メモリ使用状況**

利用できるシステムメモリ (KB)	1034208
利用できる空きメモリ (KB)	905816
使用メモリ	128392
使用メモリパーセント	12

図 5.4 システムの再起動・停止

## 6. 設定情報のバックアップ／リストア

---

### 6-1. 設定バックアップ

設定情報を記述した**設定ファイル**のバックアップを作成し、保存しておくことで、システムの機器を交換した際に、同じ設定に戻すことができます。**ダウンロード**のアイコンをクリックすると、**設定ファイル**がエクスポートされます。

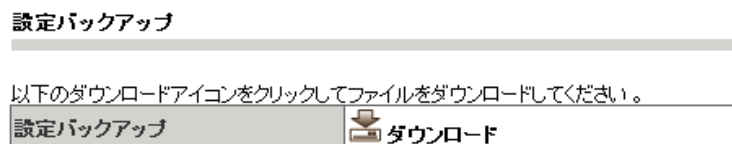


図 6.1 設定情報のバックアップ

### 6-2. 設定リストア

設定情報をエリクサーに戻す場合は、ローカルに置いた設定ファイルを**参照**ボタンで選択し、**実行**ボタンを押すと、リストアされます。**設定ファイル**のリストアを行うと、それまでの設定が上書きされますので、ご注意ください。



図 6.2 設定情報のリストア

## 7. コンソールメニュー

---

### 7-1. 起動メニュー

- (1) 仮想環境のコンソールから root ログインします。
- (2) “console\_menu.sh”スクリプトを実行しコンソールメニューを起動します。  
(必ず、root ユーザーで実行してください)

# /root/console\_menu.sh

- (3) コンソールメニューを終了する場合は Ctrl+C で終了させてください。

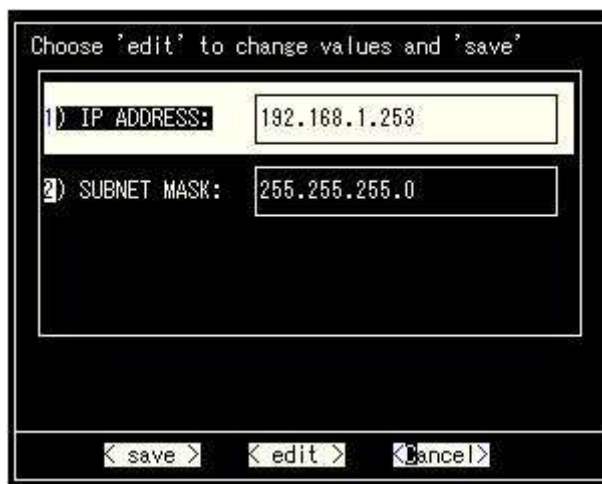
カーソル移動を十字キーもしくは TAB キー、[ENTER]キーで決定します。



メニューの内容は以下の通りです。

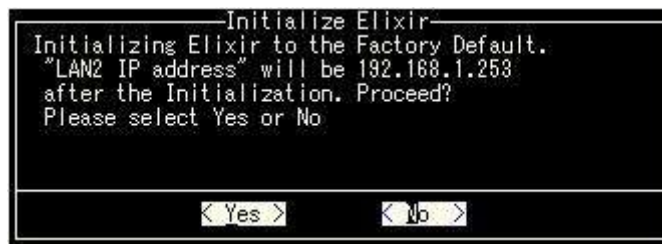
メインメニュー	サブメニュー	内容
1 LAN2 IP address & subnet mask settings	1) IP ADDRESS	LAN2 設定を表示、変更
	2) SUBNET MASK	
2 Initialize Elixir	Initialize Elixir	設定を初期化
3 Shut down Elixir	Shut down Elixir	システムを停止

## 7-2. LAN2 設定



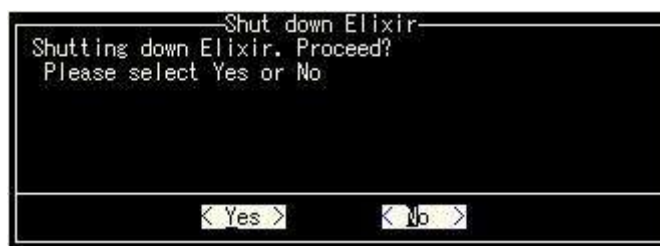
1. メインメニュー画面で[ 1 LAN2 IP address & subnet mask settings ]を選択。
2. [1) IP ADDRESS] を上下キーで選択し、左右キーで <edit> を選択。
3. [ENTER]キーを押下し、値を編集。
4. 編集後[ENTER]キーを押下し、編集モードを終了する。
5. [2) SUBNET MASK] を上下キーで選択し、左右キーで <edit> を選択。
6. [ENTER]キーを押下し、値を編集。
7. 編集後[ENTER]キーを押下し、編集モードを終了する。
8. <save> を選択し [ENTER]キーを押下で値を保存。

## 7-3. 初期化



1. メインメニュー画面で [ 2 Initialize Elixir ] を選択。
2. < Yes > を選択し [ENTER]キーを押下。

## 7-4. システム停止



1. メインメニュー画面で [ 3 Shut down Elixir ] を選択。
2. < Yes > を選択し [ENTER]キーを押下。